

平成26年12月分電力需給状況

需要の概要

平成26年12月分の販売電力量は、22億4千9百万kWh時、前年比 101.0%となった。

〔需要の内訳〕

家庭用などの「電灯」は、12月の低気温による暖房需要の増加があったものの、11月下旬の高気温や節電による影響などから、前年比 98.8%となった。

事務所ビル・大型商店などの「業務用電力」は、節電による影響があったものの、12月の低気温による暖房需要の増加などから、前年比 101.5%となった。

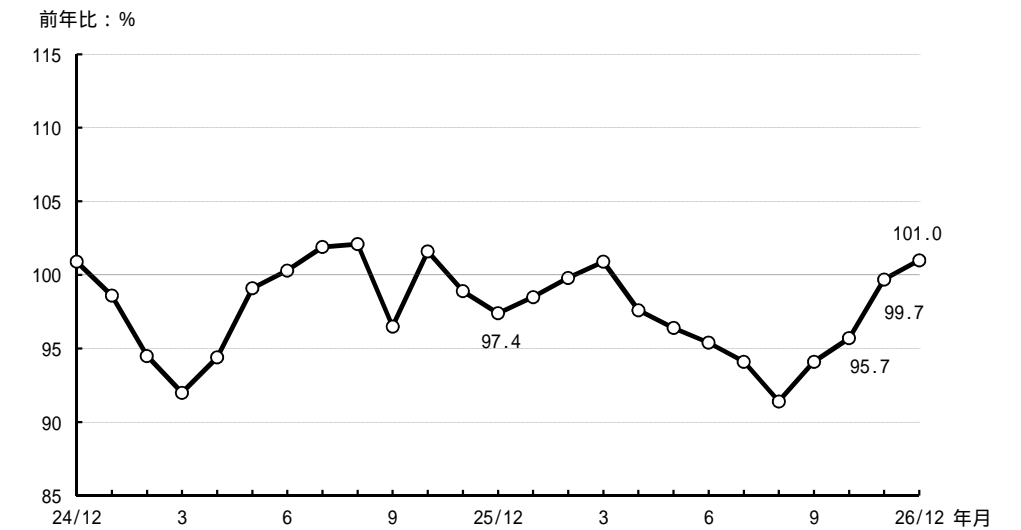
産業用の「大口電力」は、紙・パルプにおいて自家発電の補修があったことなどから、前年比 105.4%となった。

需要実績

(百万kWh時、%)

		電力量	前年比
特定規模需要 以外の需要	電 灯	782	98.8
	電 力	123	96.1
	計	905	98.4
特定規模需要 (自由化対象)	業務用電力	520	101.5
	産業用電力	824	103.8
	うち大口電力	(648)	(105.4)
	計	1,344	102.9
販売電力量 計		2,249	101.0
融 通 等		66	81.3

(参考1) 販売電力量の前年比の推移



大口電力の主な産業別内訳

(百万kWh時、%)

	電力量	前年比		
		26/12月	26/11月	26/10月
織 維	29	106.8	97.1	91.2
紙・パルプ	127	122.8	133.5	97.1
化 学	83	96.3	95.1	93.1
鉄 鋼	79	104.8	100.7	108.8
機 械	147	103.5	103.8	102.6
そ の 他	183	101.3	98.1	99.6
合 計	648	105.4	104.6	99.5

(参考2) 4県都平均気温

	26/11月				26/12月			
	上旬	中旬	下旬	月平均	上旬	中旬	下旬	月平均
実 績	16.0	12.0	14.5	14.2	7.7	5.8	6.6	6.7
平年差	0.6	1.3	3.1	0.8	1.9	2.4	0.8	1.6
前年差	0.9	0.4	4.4	1.3	2.1	1.1	0.7	0.8

「電灯」等の低圧需要の12月分検針期間は、11月の検針日～12月の検針日の前日までの1ヶ月間であるため、11月中・下旬における使用分の多くは12月分に含まれる。

供給の概要

- 原子力は、前年同様、伊方発電所が全号機停止している。
- 水力は、前年が今年以上に豊水であったことなどから、前年比 92.8%となった。
- 火力は、総需要の増加などから、前年比 101.7%となった。

供給実績

(百万kWh時、%)

	電力量	前年比	備 考
原子力	(0) 0	-	出水率 165.4% (25年12月出水率 188.6%)
水 力	(7) 189	92.8	
火 力	(89) 2,529	101.7	
新工ネ	(4) 125	145.6	
発電電計	(100) 2,843	102.4	
その他	3	-	
供 給 計	2,840	102.5	

注1. ()内は構成比

注2. 四捨五入の関係で、合計が合わないことがある

(参考3) 各県別の需要状況

(百万kWh時、%)

	徳 島	高 知	愛 媛	香 川
販売電力量 計	(100.7) 513	(97.0) 354	(103.6) 788	(100.6) 594

注. ()内は前年比